

「品質管理レビュー事例解説集（I部）」に関するアンケート結果

2022年10月

I 目的

2022年度の「品質管理レビュー事例解説集I部」の作成の参考とするために実施

II 方法

上場会社（監査役等）、レビュー対象監査事務所及び協会関係学識者に対し、アンケート用紙を「品質管理レビューの概要」（冊子）に同封し郵送

公認会計士社外役員ネットワーク正会員（以下「CPA社外役員」という。）に対しては、メールにてアンケート協力を依頼

回答は、協会ウェブサイト、FAX、電子メール、郵送で提出

※ 8月下旬にアンケート協力の再依頼メールを配信

III 提出期間

2022年7月1日から2022年8月31日まで

IV 対象及び回答数

アンケートの対象者及び対象者の種別ごとの回答数は、下表のとおりである。

なお、機関投資家へは昨年回答率が1.0%であったことから、冊子郵送せず協会ウェブサイトにてアンケートページを掲載するに留めたところ、回答者は該当がないため、VI以降の回答数の記載を省略する。

※参考：昨年度

	発送数	回答数	回答率(%)	発送数	回答数	回答率(%)
上場会社（監査役等）	3,876	155	4.0	3,849	187	4.9
CPA社外役員	1,632	1	0.1	1,409	16	1.1
機関投資家	0	0	0	879	9	1.0
レビュー対象監査事務所	218	64	29.4	209	56	26.8
協会関係学識者	20	3	15.0	21	4	19.0
合計	5,746	223	3.9	6,367	272	4.3

V 回答方法

利用されたアンケートへの回答方法は、下表のとおりである。

なお、昨年に続き郵送による回答者は該当がないため、回答数の記載を省略する。

※参考：昨年度

	Web	メール	FAX	Web	メール	FAX
上場会社（監査役等）	149	4	2	172	4	11
CPA社外役員	1	0	0	15	0	1
機関投資家	0	0	0	6	1	2
レビュー対象監査事務所	61	2	1	55	1	0
協会関係学識者	3	0	0	4	0	0
合計	214	6	3	252	6	14

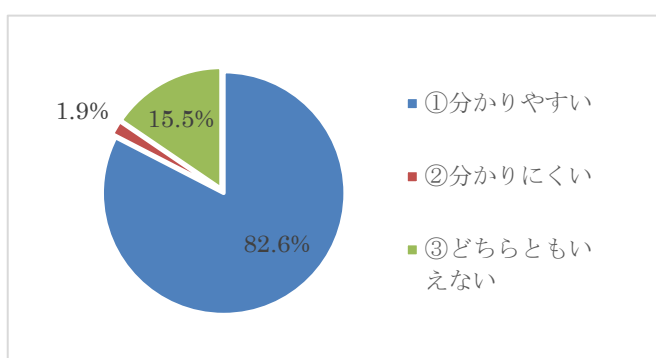
VI アンケート項目

Q 1 全体を通して、「本解説集(I部)」の記載内容は分かりやすいと思われたでしょうか。

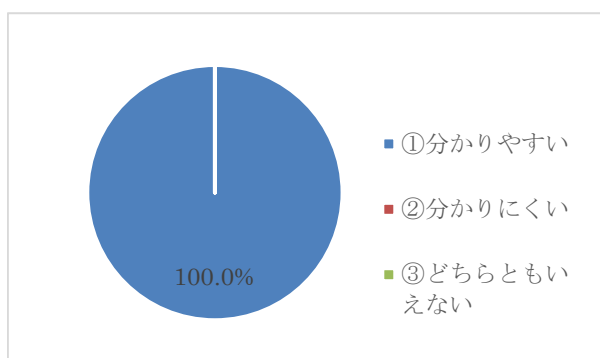
(共通質問項目)

選択肢	上場会社 (監査役等)	CPA 社外役員	レビュー対象 監査事務所	協会関係学識者
①分かりやすい	128	1	62	3
②分かりにくい	3	0	0	0
③どちらともいえない	24	0	2	0
合計	155	1	64	3

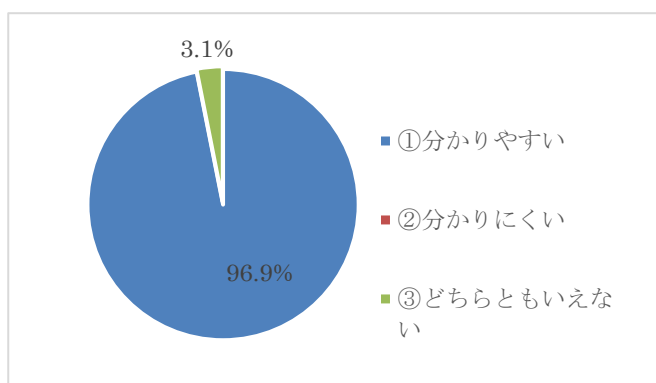
■ 上場会社 (監査役等)



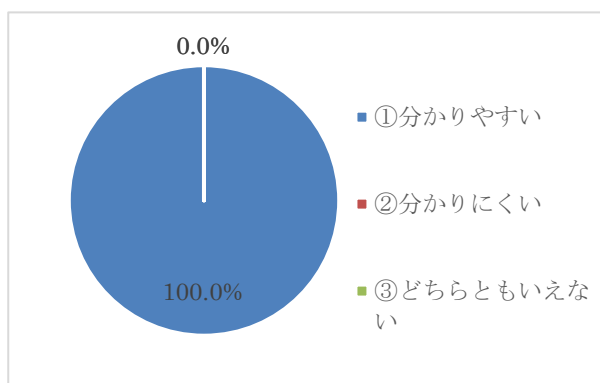
■ CPA 社外役員



■ レビュー対象監査事務所



■ 協会関係学識者



Q 1について「分かりやすい」と回答した上場会社（監査役等）の割合は82.6%（155名中128名）、協会関係学識者の割合は100.0%（3名中3名）であった。

また、「分かりやすい」と回答したレビュー対象監査事務所の割合は96.9%（64名中62名）であった。

Q 2 「本解説集(I部)」の記載のうち、特に、分かりやすいと思われた項目及び分かりにくいと思われた項目は何ですか。該当する項目を選択してください。（複数選択可）（共通質問項目）

()内の数値は回答率

※青色（赤色）の網掛けは、各対象者上位3位（1位）

選択肢	上場会社 (監査役等)	CPA 社外役員	レビュー対象 監査事務所	協会関係学識者

	分かりやすい	分かりにくい	分かりやすい	分かりにくい	分かりやすい	分かりにくい	分かりやすい	分かりにくい
I. 品質管理レビューの概要	117 (95.1)	6 (4.9)	1 (100.0)	0 (0.0)	33 (97.0)	1 (2.9)	0 (0.0)	1 (100.0)
II. 1. 改善勧告事項の概要	104 (90.4)	11 (9.6)	1 (100.0)	0 (0.0)	36 (100.0)	0 (0.0)	2 (100.0)	0 (0.0)
II. 2. 改善勧告事項の意義	109 (92.4)	9 (7.6)	1 (100.0)	0 (0.0)	36 (100.0)	0 (0.0)	2 (100.0)	0 (0.0)
III. 1. 監査事務所に関する改善勧告事例【事例1～事例4】	116 (92.8)	9 (7.2)	1 (100.0)	0 (0.0)	59 (98.3)	1 (1.7)	2 (66.7)	1 (33.3)
III. 2. 監査業務に関する改善勧告事例【事例5～事例20】	119 (90.2)	13 (9.8)	1 (100.0)	0 (0.0)	57 (98.3)	1 (1.7)	2 (66.7)	1 (33.3)
事例一覧表	92 (92.0)	8 (8.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	38 (100.0)	0 (0.0)	3 (100.0)	0 (0.0)
合計	657 (92.1)	56 (7.9)	6 (100.0)	0 (0.0)	259 (98.9)	3 (1.1)	11 (78.6)	3 (21.4)

全体的な傾向としては「分かりやすい」とする評価が多く、とりわけ、上場会社（監査役等）及びレビュー対象監査事務所を中心に、全ての項目において「分かりやすい」という評価が9割以上となっている。

一方、上場会社（監査役等）及びレビュー対象監査事務所からは、「III. 2. 監査業務に関する改善勧告事例【事例5～事例20】」については「分かりにくい」という評価が一定数見受けられた。

Q2に対して寄せられた内容の改善等に関する主なコメントは、以下のとおりである（CPA 社外役員及び協会関係学識者からのコメントはなかった。）。

Q2に対して寄せられた主なコメント（上場会社（監査役等））
事例について、導入部分→事例→解説→ポイントと分かりやすい。
改善勧告事例では、〈Point〉表記があり、説明がされわかりやすかった。確認ポイントの知識となった。
以前に比べ、表現、レイアウトなど、工夫されていると思いました。
事例に関しもう少し踏み込んだ解説、例えば事例の詳細や対象企業の規模・業種、発生の背景、指摘に至った理由等が示されていると良かった。
具体的で分かりやすいと思います。
対象としている項目が、どのページに記されているのか分かりにくい。項目名欄に記載ページを表示して欲しい
特に改善勧告事例については、参考になる取組事例など、大変ありがたいと感じました。
・I-2-(2) 改善勧告事項の項目別の状況のグラフについて。2021年度が2020年度よりも改善勧告事項の発生割合が多いことについて、単純に、「発生割合が増加しています」という表記だけではなく、「〇〇の理由で増加した」という考察も表記する必要があるのではないか。そのようにすれば、各監査法人、各会計士への注意喚起にもつながると考える。また、資料編には多少なりとも考察が記載されているので、「詳細は資料編P.〇〇参照」等の注釈をつければ、資料編の活用も進むのではないか。
事例一覧表は、各事例より前にあった方がよいのではないのでしょうか。
要所に図示され、簡単な事例を交えて記載されており、直感的にわかりやすかった。特に「事例一覧表」ではII部との連動性が記載され、利用しやすかった。
20項目に亘り、監査人が監査の上で留意するポイントや参考になる取組事例が分かりやすく記載されており、大変参考になりました。

Q 2 に対して寄せられた主なコメント（上場会社（監査役等））
品質管理レビューの概要は特に担当監査法人、公認会計士様の外部監査の評価が体系だって理解出来、大変勉強になりました。ご教授ありがとうございました。
監査に必要な観点に関する記載は参考になります。
改善勧告事例は参考になって分かりやすい。ただ何故起きたのか、監査事務所の体制問題まで言及して欲しい。
改善勧告事項を参考にすることによって、同様の事例にあたっては、監査人との議論のポイントがある程度明確になり、効率的且つ有効なミーティングになるように役立てていきたい。

Q 2 に対して寄せられた主なコメント（レビュー対象監査事務所）
すっきりしていて非常に良いです。
改善勧告事例は、事例・解説・ポイントがコンパクトにまとめられており、わかりやすいです。
改善勧告事例についての解説が、非常に丁寧に記載して頂いているため理解しやすかった。
POINT、参考になる取組事例など、項目が分かれていて読みやすかった。
例えば、事例7の仕訳テストにつき具体例を掲げて下されば、より参考になったと思われまます。
<POINT>もわかりやすい内容でした。
「参考になる取組事例」が非常に参考になります。

■ 上場会社（監査役等）への質問項目

Q 3 全体を通して、「本解説集(I部)」は、**監査人とのコミュニケーションに当たり**、参考となりましたか。

■ CPA 社外役員・協会関係学識者への質問項目

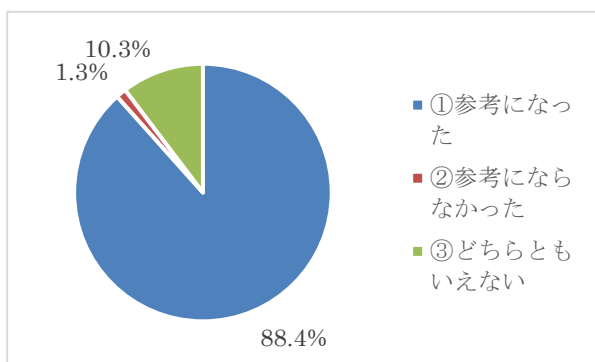
Q 3 全体を通して、「本解説集(I部)」は、**品質管理レビュー制度の理解に当たり**、参考となりましたか。

■ 監査事務所への質問項目

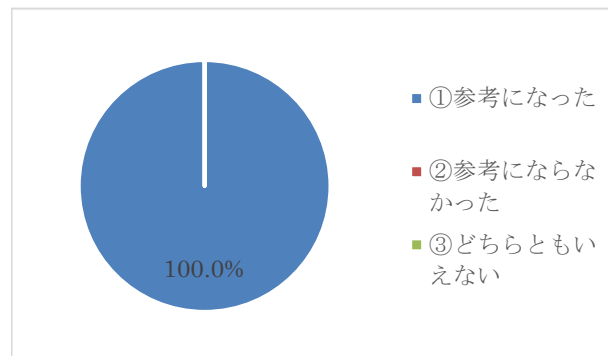
Q 3 全体を通して、「本解説集(I部)」は、**監査事務所の監査品質を向上するために**、参考となりましたか。

選択肢	上場会社 (監査役等)	CPA 社外役員	レビュー対象 監査事務所	協会関係学識者
① 参考になった	137	1	63	3
② 参考にならなかった	2	0	0	0
③ どちらともいえない	16	0	1	0
合計	155	1	64	3

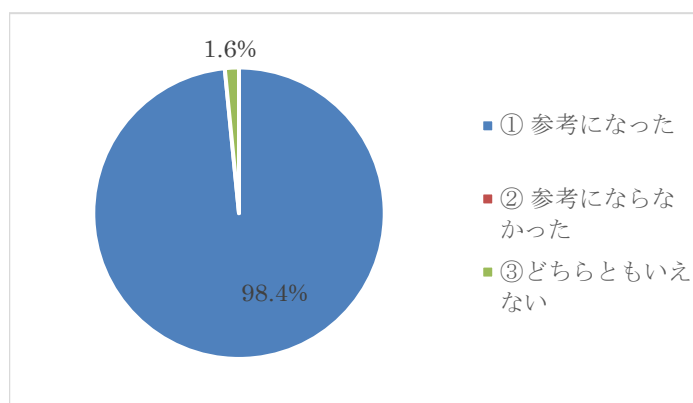
■ 上場会社（監査役等）



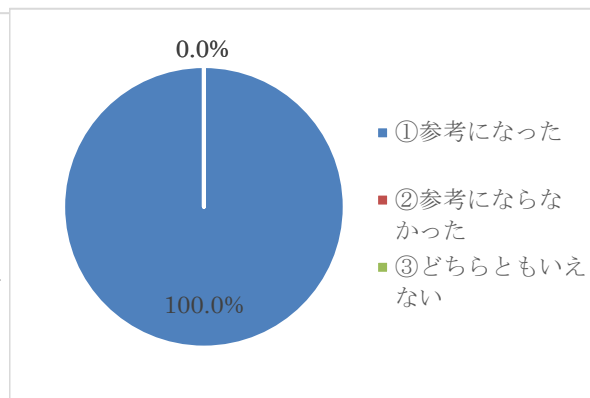
■ CPA 社外役員



■ レビュー対象監査事務所



■ 協会関係学識者



監査人とのコミュニケーションに当たり、本解説集 I 部が参考になると答えた上場会社（監査役等）の割合は、88.4%であった。

また、回答している CPA 社外役員及び協会関係学識者の全てが、品質管理レビュー制度の理解に当たり、本解説集 I 部が参考になると回答している。

さらに、監査事務所の監査品質向上のため、本解説集 I 部が参考になると答えたレビュー対象監査事務所の割合は、98.4%であった。

■ 上場会社（監査役等）のみ質問項目

Q 4 **監査人とのコミュニケーションに当たり、特に参考になった項目は何ですか。** 該当する項目を選択してください。（複数選択可）

■ CPA 社外役員・協会関係学識者への質問項目

Q 4 **品質管理レビュー制度の理解に当たり、特に参考になった項目は何ですか。** 該当する項目を選択してください。（複数選択可）

■ レビュー対象監査事務所のみ質問項目

Q 4 **監査事務所の監査品質を向上するために、特に参考になった項目は何ですか。** 該当する項目を選択してください。（複数選択可）

※黄色の網掛けは、各対象者上位 2 位

選択肢	上場会社 (監査役等)	CPA 社外役員	レビュー対象 監査事務所	協会関係 学識者
I. 品質管理レビューの概要	60	0	8	0
II. 1. 改善勧告事項の概要	55	0	18	0
II. 2. 改善勧告事項の意義	57	0	13	2
III. 1. 監査事務所に関する改善勧告事例 【事例1～事例4】	94	0	56	2
III. 2. 監査業務に関する改善勧告事例 【事例5～事例 20】	106	1	56	2
事例一覧表	34	0	24	2
合 計	406	1	175	8

【総評】

上場会社（監査役等）及びレビュー対象監査事務所の双方から、「Ⅲ. 1. 監査事務所に関する改善勧告事例【事例1～事例4】」及び「Ⅲ. 2. 監査業務に関する改善勧告事例【事例5～事例 20】」を、会計監査人とのコミュニケーションに当たって、また、監査事務所の監査品質向上のために、特に参考になった項目として挙げている。

なお、**Q4**に対して寄せられた主なコメントは、以下のとおりである（なお、協会関係学識者からのコメントはなかった。）。

Q4に対して寄せられた主なコメント（上場会社等（監査役等））
監査事務所のことがよく分かりコミュニケーションに役立つと思う。
・会計監査人の監査業務内容を確認していくためのポイントが記載されており、今後の会計監査人とのコミュニケーションで活用できると考えた。
当該監査法人より「品質管理レビュー」について概略説明を受けているため既知に内容が多い中で、「報酬依存度」等のようなクライアント側目線では気付かない要素も盛り込まれており、興味深いものであった。
改善勧告事例は、改めて客観的な視点にリセットして頂いている様で有難かったです。
気になる事例について、会計監査人と共有したいと思います。
財務諸表監査における不正、グループ監査について、連結財務諸表監査の不正を未然防止するため重要な項目であり、監査に必要な観点に関する記載は参考になります。
各事例が具体的で、かつ監査人の先生方が抱える（お悩みになっている）課題も分かり、今後の監査活動において有効な情報交換ができると思いました。
項目、解説、ポイントの流れで分かりやすい。
改善勧告事例を参考に、監査役および内部監査人ともに情報を共有し、それぞれの監査に役立て、不正やリスクの事前防止に活用していきたい。
改善勧告事例については、コミュニケーションの参考になったという理由ではないのですが、大変興味深く拝見させていただきました。

Q4に対して寄せられた主なコメント（レビュー対象監査事務所）
改善勧告事項ごとに Point がまとめられており、指摘事項に対する改善のイメージがつかみやすいです。
少なくとも、品質管理レビュー事例解説集の内容と同様のエラーが生じないように、監査事務所の監査手続（監査マニュアル）の改訂を検討するとともに、専門要員への研修、監査責任者の査閲、審査担当者の審査を実施している。
他のエンゲージメントでの事例は他山の石であり、自身に発生している可能性も高く、非常に参考になります。
「参考となる取組事例」など、良い事例がとても参考になりました。
監査業務に関する改善勧告事項に記載されている Point は図を用いて分かりやすく説明されていると思いました。
また、参考になる取組事例も他の監査法人が行っている品質管理への取り組みを知るいい機会になり、当法人の監査品質の向上のため活用することを検討したいと思います。

Q5 「本解説集(I部)」について、改善すべき点等、ご意見、ご要望があればご記載願います。（共通質問項目）

上場会社（監査役等）から 16 件、レビュー対象監査事務所から 13 件、協会関係学識者から 1 件の意見、要望があった。

寄せられた意見・要望は、2022 年度「品質管理レビュー事例解説集」の作成の参考とする。

主な意見・要望は、以下のとおりである。

Q 5 に対して寄せられた主なコメント（上場会社（監査役等））
事例の内容と記載量が程よいと思いました。
グループ監査役連絡会においても事例を共有し、勉強会の開催も計画したいと思います。
できれば監査等委員の役割や会計監査人との連携の上での責任等についても情報を盛り込んでほしい。
非常に良く出来た解説集だと思います。有難うございました。
よく整理されており、改善要望等は特にありません。
事例が20件載っていて、とても役立ちます。

Q 5 に対して寄せられた主なコメント（レビュー対象監査事務所）
事例を増やして欲しいです。また、もっと具体的にして欲しいです。
事例一覧表が一番最後にありますが、Ⅲ. 改善勧告事例の解説の前にあった方がよいと思いました。
毎年構成を見直すのではなく、しばらく同じ構成で作成を継続される方が（継続的に趨勢を把握できるという観点等から）良いと思います。
冒頭の本編と重複している箇所は、割愛してもいいのではないかと思います。
本年度からⅠ部とⅡ部を分けたことにより、改善勧告事項の事例解説の部分が非常に読みやすくなったと思います。
特にございません。毎年、工夫がなされてわかりやすいです。
より具体的事例で改善勧告すべき事項をさし示して頂きたいです。
全体的に見やすくまとめられていて良いと思っています。引き続きよろしく願いいたします。
会計上の見積りの監査に関して、当年度は「固定資産の減損」が取り上げられていますが、監査基準委員会報告書540が改正されることもあり、今後は「繰延税金資産の評価」や「貸倒引当金の計上」等の事例についても取り上げて、分かりやすく説明していただけるとありがたいです。

Q 5 に対して寄せられた主なコメント（協会関係学識者）
本解説集は大変よく編集されていると思います。これ自体が重要なCPA教材であると思いますので、これが各公認会計士又は監査法人でどのように具体的に活用されているかもレビューして、より活用方法を紹介することができればよいと思います。

以 上